

# 令和元年度 建設界の担い手確保・育成に関する取り組み

## ② 活動事例の紹介

1. 新潟県部会…………… P1～16
2. 富山県部会…………… P17～27
3. 石川県部会…………… P28～35
4. けんせつフェアin富山2019開催報告…………… P36～37

令和元年度  
建設界の担い手確保・育成に関する取り組み

令和元年度の活動事例紹介  
【新潟県部会】

## 【担い手確保】新潟地区の小学生による親子工事見学会

(一社)日本建設業連合会北陸支部

- ・北陸地方において建設界が担う役割や目的、その魅力について理解を深めるため、7月30日(火)に新潟地区の小学生高学年を対象に、親子工事見学会を開催。
- ・普段見られない建設現場、シールドマシーンなどを見学し、公共インフラの役割と建設技術の水準の高さなどを知ってもらう。

### 開催概要

令和元年7月30日(火) 9:00~12:00

〈見学場所〉

新潟駅付近連続立体交差事業

坂井輪排水区坂井輪雨水1号幹線下水道工事

〈参加者〉17組43名(小学生26名、保護者17名)

### 見学会の感想

- ・普段、目にすることができないところで大事な仕事をしていている人たちがいることを子供たちが実感してくれて良かった。
- ・子供が鉄道好きで応募しましたが、下水道工事の見学もできて親子で楽しめました。
- ・普段見ることができない現場を見学して貴重な体験をさせてもらった。
- ・しっかりと熱中症対策をされていて感心した。

### 今後に向けて

- ・大多数の方が「今後もこのような見学会があった方が良い」との回答がありました。現場を見学してそれぞれが印象に残るよう、スケール観のあるダムや橋などの現場見学会を計画し、次世代の担い手確保に努めていきたい。



新潟駅付近連続立体交差事業



坂井輪排水区坂井輪雨水1号幹線下水道工事

## 【担い手確保】長岡地区の小学生による親子工事見学会

(一社)日本建設業連合会北陸支部

- ・北陸地方において建設界が担う役割や目的、その魅力について理解を深めるため、7月29日（月）に長岡地区の小学生高学年を対象に、親子工事見学会を開催。
- ・普段見られないダム建設現場、トンネル工事などを見学し、公共インフラの役割と建設技術の水準の高さなどを知ってもらう。

### 開催概要

令和元年7月29日（月）12:00～17:00

〈見学場所〉

鵜川ダム本体建設工事

国道8号柏崎トンネル（山岳部）工事

〈参加者〉6組17名（小学生11名、保護者6名）

### 見学会の感想

- ・長い年月をかけてたくさんの方の技術や苦労のおかげで私たちの生活が便利で安全に安心して暮らせることがわかりました。
- ・子供が質問していたので興味があるのだと感じました。
- ・普段なかなか経験できないことなので工事見学会に参加できて良かった。
- ・しっかりと熱中症対策をされていて感心した。

### 今後に向けて

- ・大多数の方が「今後もこのような見学会があった方が良い」との回答がありました。現場を見学してそれぞれが印象に残るよう、スケール観のあるダムや橋などの現場見学会を計画し、次世代の担い手確保に努めていきたい。



鵜川ダム本体建設工事



国道8号柏崎トンネル（山岳部）工事

## 【担い手確保】地質調査実習授業(塩沢商工高等学校)

(一社)新潟県地質調査業協会

・現場代理人としての必要な知識・技術として地質調査に関する調査方法及び結果の利用方法を知識として習得させ、卒業後の2級土木施工管理技士学科試験の受験意欲の醸成と離職防止及び就職後、即戦力となり得る人材育成につなげる。

### 開催概要

令和元年9月12日(木) 12:45~15:30

〈授業内容〉

簡易なサウンディング試験の体験

ボーリングコアの観察、試験結果の取りまとめ

〈対象者〉3年生 15名

### 事業実施の効果(平成30年度)

- ・実習授業対象者15名のうち、土木施工管理技士学科試験に4名が合格。
- ・合格者からは「試験科目であった地質調査の実習授業が非常に役に立った」との感想を聞いている。

### 今後に向けて

- ・学校側から要請がある間は、毎年継続していきたい。



屋外での実習授業



教室内



# 建設業界！魅力発見ツアー

開催日

2019年7月19日(金)



実際の建設現場見学や先輩社員からの話を通じて、建設業の魅力を発見してみませんか？  
建設業界はどんな仕事をしているのか？やりがいがあるのか？等々 皆さんの参加をお待ちしています！



## < スケジュール (昨年の例) >

13:30 集合

13:40 現場見学へ出発 (バス移動)  
土木工事・建築工事の2現場を見学  
現場にて建設機械搭乗、鉄筋結束作業、  
ドローン操作体験

15:40 村上地域振興局にてビデオ上映等  
プレゼンテーション、先輩社員からの  
魅力発信スピーチ、質疑応答等

16:30 閉会

高校生を対象 (男女共) に開催

- ・民間企業への就職希望者・公務員就職希望者
- ・大学等への進学希望者 …… どなたでも  
広く進路選択に役立つ内容です。ぜひご参加ください！

主催 村上公共職業安定所、新潟県村上地域振興局、村上市

後援 新潟県建設業協会村上支部、村上市建設業協会、関川村建設業協会

申込期限 月 日( )まで

申込先:

# 「職人さんになってみよう」新潟建専連「ものづくり広場2019」に出展 【建政部】

- 令和元年8月24日(土)、子供たちに職人の仕事について理解を深めてもらおうと、新潟県建設専門工事業団体連合会が新潟県立新潟テクノスクールで開かれた「ものづくり広場2019」に体験ブースを出展
- 新潟県左官業協同組合による「壁塗り体験」、新潟県鉄筋協同組合による「鉄筋結束体験」、新潟県室内装飾事業協同組合による「クロス・床仕上げ体験」のそれぞれのブースで子供たちが職人技に挑戦

## 壁塗り体験



子供たちが「こて」と「こて板」を持ち、珪藻(けいそう)土を使った壁塗りに挑戦(約30名が体験)

## 鉄筋結束体験



ハッカーというくぎ抜きに似た器具や自動結束機を使って鉄筋同士の交差部に針金を巻き付けて結束する作業を体験(約80名が体験)

## クロス・床仕上げ体験



塩化ビニール製のフロアタイルを所定の大きさに切り取って床に見立てたベニヤ板に貼る作業を体験(約80名が体験)

# 【担い手確保】わくわくお天気・防災教室

国土交通省北陸地方整備局信濃川河川事務所

開催場所：燕市民交流センター

開催日時：令和元年8月2日（金） 14:00～16:00

講師 山神 明理 参加生徒37名 保護者10名

・気象変動に起因する災害が多発しており、新潟県内においてもいわゆるゲリラ豪雨が多発するなど気象変動に伴って洪水や土砂災害の危険性が高まっていることから、燕市近隣住民を対象に地域住民とその子供たちに水防災意識の向上と知識の普及啓発を目的に開催

## 教室の様子



お天気・防災クイズの様子



大河津分水路の説明



綿を使った雲の図鑑の工作

## 新聞にも掲載されました

令和元年  
8月6日  
新潟日報13面

夏休み中の子どもの怪しい「わくわくお天気・防災教室」が2日、燕市民交流センターで開かれた。参加者はクイズや実験を通して夏の仕組みや気象のしくみを学んだ。

国土交通省信濃川河川事務所などによる実行委員会の主催。市内外の3、4年生約40人が参加した。気象専門士・防災士の資格を持つお天気キッズの山神明理さんや、信濃川河川事務所の職員らが講師を務めた。

山神さんは「夏は晴れて暑い日が多く、冬は雪が多い」という新

万が一に備えて

## 天気の仕事みに納得 燕で子ども向け教室

夏の天気の特徴を紹介、「一人用の傘は1時間当たり10分の雨が降ると、50分の重さになる」との話に子どもたちは驚いていた。

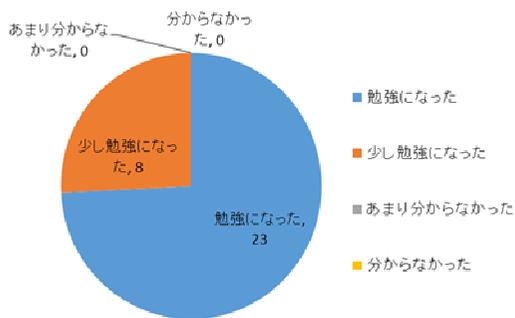
「避難指示」と「避難勧告」の緊急度を問うクイズや、ペットボトルにエタノールを入れて雲を発生させる実験もあり、子どもたちは楽しみながら防災や天気の知識を学んだ。

熱心なメモを取っていた吉田小4年の池田千穂さん（右）は「新潟は南風が吹くと暑くなりやすいと知ってよかった」と話した。



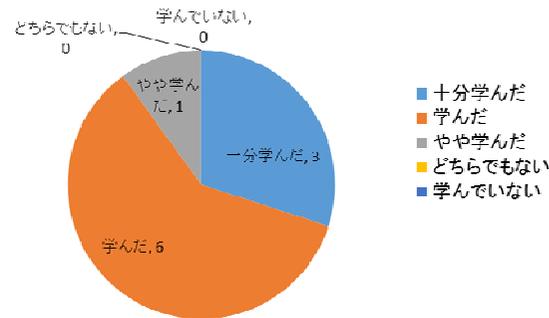
子どもたちが楽しみながら天気や防災の知識を学んだ「わくわくお天気・防災教室」=2日、燕市

### Q4 今日の教室は勉強になりましたか？



アンケート結果 小学生(34名参加者記入)

### Q5 お子様は自然災害への備えを学んだと思いますか？



アンケート結果 保護者(10名参加者記入)

# 【担い手確保】長岡造形大学と大河津分水100周年記念事業ロゴ共同作成

国土交通省北陸地方整備局信濃川河川事務所

開催場所: 信濃川大河津資料館 外

開催日時: 令和元年9月20日(金) 13:00~17:00

参加学生: 視覚デザイン科 12名

・2022年に大河津分水通水100周年を迎えるため、その記念ロゴの作成を長岡造形大学へ依頼。ロゴ作成のため、学生の大河津分水現場見学を実施、記者発表を行い、広報PRを実施。今後、要所で広報を実施。

## 見学の様子



大河津資料館



竣工記念碑



堰操作室



大河津分水路改修工事現場



にとこ工事みえ〜る館



FMながおかの取材

令和元年  
9月27日  
新潟日報  
16面

## 新聞にも掲載されました



22年に大河津分水路通水100年

### 長岡造形大 ロゴ作成へ

燕 学生 歴史学び 構想練る

2019年の大河津分水 事業のロゴの作成を長岡造形大に依頼した。同大学の 陸地方整備局信濃川河川 事務所(長岡市)は、記念 路の歴史などを盛り、イメ ージを練らせた。

信濃川河川事務所は通水 100周年を機に分水路の 重要性などを広く知っても けん玉ハウスマンらおと、21年から記念事 業の実施を計画している。 20日1、3年生12人が参 加した。分水路がなければ、新 潟は米どころになっていま せん。資料館では、国内

通水100周年記念事業のロ ーゴ作成のため、大河津分水路 について学ぶ長岡造形大の学 生12名が、

国土交通省北陸地方整備局 信濃川河川事務所(長岡市)の 土木工事として、いち 早く海外の大規模機械が導入 されたことや、分水路の開 通によって水害が減り、本 原の農業が発展したことな どの説明を受けた。

その後、信濃川河川事務 所大河津資料館にある堰の 操作室や、現在進められて いる分水路の拡幅工事を見 学。学生たちは感心した様 子で、写真を撮ったり、メ ンを取ったりしていた。

ロゴは年内に複数の案を 作成する。河川事務所は一 般投票を検討しており、本 年度内に決定する予定。 参加した3年の高橋愛実 さん(2)は「分水路の開通 が多方面に影響を与えたこ とが分かった。そのことが 伝わるようなロゴを作りた い」と意気込んだ。

日時：令和元年 9月 18日（水）

場所：新潟大学 工学部

「土木計画学」集中講義において、田中事務所長より、新潟大学工学部の学生（16名）を対象に「道路施策概論」について講義を実施。

## <講義内容>

### ①道路の計画調査と整備

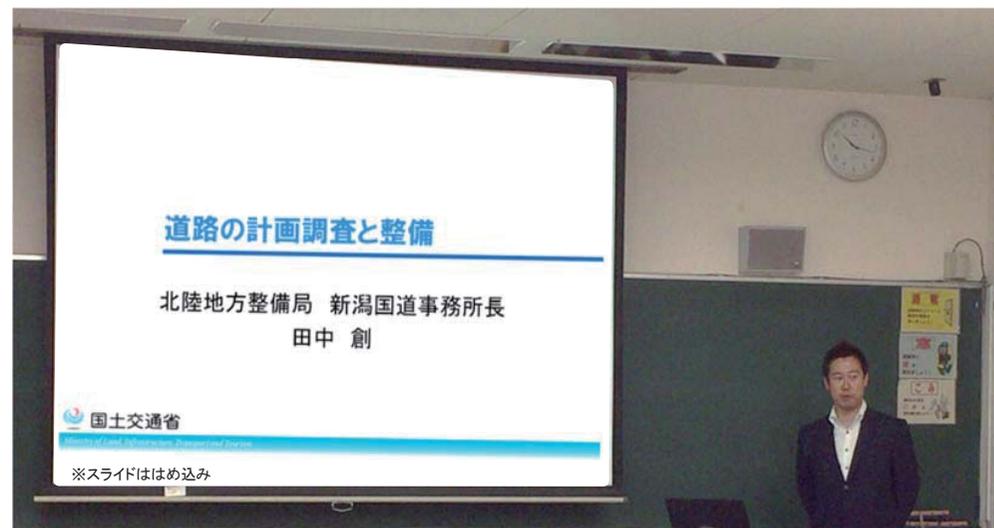
- ・道路の歴史と役割
- ・道路の計画と整備
- ・高速道路
- ・建設業と公共工事の今後の展望

### ②道路施策と地域との連携

- ・道路の渋滞対策・交通安全対策
- ・身近な道路施策と地域との連携
- ・他の交通モードとの連携

### ③道路の維持管理と新たな技術

- ・道路の維持管理と防災対策
- ・道路のITS
- ・道路インフラの海外展開



▲「道路施策概論」について講義を行う田中事務所長



▲熱心に聴講する学生の様子

日時：令和元年 7月9日(火)、10日(水)  
参加者：新潟工業高校2年生 2名

カリキュラム

9日：事業概要

(栗ノ木道路・紫竹山道路、CIM、  
朝日温海道路、電線共同溝 など)  
水原バイパス 見学

10日：維持管理・道路メンテナンス

橋梁点検 体験(黒埼管理跨道橋)  
舗装補修 見学(津川除雪ST)  
橋梁補修 見学(燕市粟生津)



にいこく事業を熱心に学習



栗ノ木道路工事ステップ  
360° VRを体験中！



橋下部工事 橋脚の説明



橋梁の打音点検に挑戦！



橋梁補修箇所を確認



バックホウを使って地盤改良

# 黒埼中学校1年生が道路について学びました！

## ○黒埼中学校総合学習

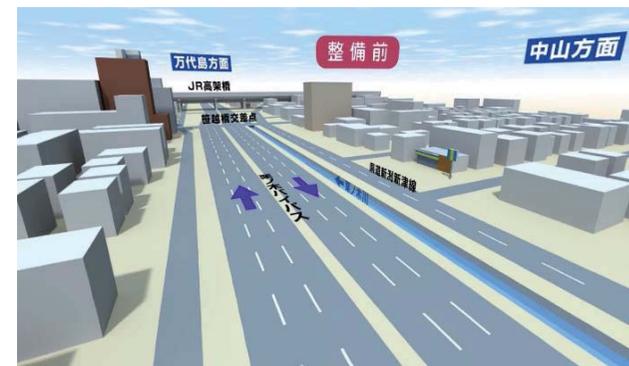
「地域の国道と歴史と未来について」をテーマに黒埼中学校の1年生が事務所を訪問し、道路について学習し、事務所内の施設を見学しました。

日 時： 令和元年6月21日(金)

参加者： 黒埼中学校 1年生4名



▲道路について熱心に学ぶ生徒のみなさん



▲ITSコックピット(情報管理室)を見学



▲360° VRイメージ動画をタブレットでチェック！

▲栗ノ木道路360° VRイメージ動画工事ステップ

# そうだったのか！ もっと好きになったよ ぼくたちの萬代橋



国土交通省 北陸地方整備局  
新潟国道事務所

日 時: 令和元年7月12日(金)  
参加者: 万代長嶺小学校4年生 59名

毎年恒例の清掃活動『萬代橋みがき』を  
ひかえた万代長嶺小学校4年生が、萬代橋  
の移り変わりと役割について学びました。

7月22日(月)は、みんながもっと好きに  
なった萬代橋をピカピカにするぞ！



萬代橋は今より長かったんだ！



もっと詳しく知りたいです！

みんなで萬代橋をきれいにしよう！



## 【担い手確保】 塩沢商工高校生が橋梁点検を体験

長岡国道事務所

- ・南魚沼市の国道17号「伊田川橋」において、塩沢商工高等学校3年生15名が橋梁点検の現場実習を実施しました。  
教室(事前学習)⇒伊田川橋(打音検査)⇒教室(感想発表会)を実施し最後に点検結果の感想を発表しました。  
この実習は、将来のインフラ老朽化対策を担う人材育成を目的とし、平成28年度から継続して実施しています。

### 開催概要

令和元年9月26日(木) 13:30~14:30  
高校内で講義⇒伊田川橋(橋梁点検実習)⇒高校内で点検結果報告  
〈点検場所〉  
国道17号 伊田川橋(南魚沼市塩沢)  
〈参加者〉15名(引率教員2名)

### 見学会の感想

- ・「橋梁点検は橋の色々なところを細かく見ていく必要があり想像よりも大変だった。」
- ・「普段は橋の上を通るだけなので全然損傷に気づかなかったが、橋の下など細部まで点検する必要性が分かった」

### 今後に向けて

- ・今回実施が9月後半であり時期的に既に生徒の建設会社の就職が決まった生徒が大半であった、今後先生とも相談し早い時期に実施を検討し生徒に情報提供を図りたい。



塩沢商工 教室内(点検後の報告会)



国道17号 伊田川橋(打音検査で浮きの有無を確認)

◆宮城県の1団体、24名の方々が新潟防災センターを見学されました。

## ◆実施状況

### ■登米市消防団南方支団

開催日：令和元年8月19日(月)

時間：9:30~10:30

実施内容：「防災センターの災害対応について」  
「災害対策車両見学」

参加者数：24名

### ■報道結果

- 記者発表なし
- 報道なし

【今年度の見学団体数：11団体】

【今年度の見学者数：340名】



防災センターの役割についての説明



遠隔操縦対応型バックホウの見学



照明車、排水ポンプ車、  
災害対策車の見学

# 防災学習(降雨体験)を実施しました

新潟大学教育学部附属新潟小学校5・6年生の皆さんが、西日本豪雨をテーマとした学習の一環で来所されました。

## ◆ 実施状況

### ■新潟大学教育学部附属新潟小学校 5・6年生

開催日 : 令和元年9月17日(火)

時間 : 9:45~11:00

実施内容 : 「西日本豪雨における緊急排水活動について」のお話を聞いたあと、降雨体験装置で、平成30年7月西日本豪雨の雨量や日本一を記録した降水量を体験しました。

参加者数 : 17名

### ■報道結果

- ・テレビ 2局(9/17)
- ・新聞 1紙(9/18)



降雨体験の様子

## ◆ テレビ・新聞の報道状況



新潟総合テレビ(R1.9.17)



テレビ新潟放送網(R1.9.17)



建設工業新聞(R1.9.18 7面)

R1.9.17

◆ 『ほくぎひろば』において、コープにいがた 暮らしの助け合い たんぽぽの会 がバリアフリー体験をしました。

## ◆ 体験状況

■ 生活協同組合コープにいがた 暮らしの助け合い たんぽぽの会

開催日：令和元年9月25日（水）

時間：10:00～11:35

実施内容：「車いす体験」  
「視覚障害者体験」  
「高齢者体験」

体験者数：22名

■ 報道結果

- ・ 記者発表なし
- ・ 報道なし



※北陸技術事務所では事務所施設を体験学習パーク『ほくぎひろば』として、学生や地域の方々に「まちづくり」「防災」「環境」などの学習支援の場として提供しています。



車いす体験



視覚障害者体験



高齢者体験

令和元年度  
建設界の担い手確保・育成に関する取り組み

令和元年度の活動事例紹介  
【富山県部会】

R1.7.30-8.1

# 「第23回 SABO体験楽校」を開催！

がっ こう



砂防工事などを体験的に学ぶことにより、砂防事業に対する認識を深めてもらうことを目的として、富山県内の高校生が参加する「SABO体験楽校」を毎年開催しています。第23回となる今年の「SABO体験楽校」では、6名の高校生が工事現場での実体験や砂防事業に携わる人々との交流を通じて、学校の授業では得られない貴重な体験をしました。

開校期間：令和元年7月30日(火)～8月1日(木)【2泊3日】  
 実施場所：立山砂防事務所、水谷出張所（立山カルデラ内）  
 参加者：富山県立桜井高等学校 1名  
 富山県立富山工業高等学校 5名 計6名  
 主催：国土交通省 立山砂防事務所  
 一般財団法人 富山・水・文化の財団



立山カルデラ砂防博物館見学



天運の湯清掃(協力:松嶋建設㈱)



土砂災害模型実験



無人化施工とICT施工体験(協力:備前部)



コンクリート打設体験(協力:丸新志鷹建設㈱)



ドローン操作体験(協力:鶴林土木)



ロープ作業体験(協力:新栄建設㈱)



生コンプラント見学(協力:水谷生コンクリート事業(協))



枕木交換体験(協力:富山地铁建設㈱)

参加された生徒の感想

- 立山の事や現場での作業について学ぶことができました。
- 沢山の体験ができ、とても有意義な体験楽校となりました。
- この体験を今後の学校生活などで活かしていきたいです。
- 3日間という短い期間で貴重な体験が沢山できました。
- 今回学んだ事を活かして、これからの進路選択の参考にしたいです。

## R1.7.3 『僕ら「さぼう」探検隊！』を開催 砂防堰堤とは？ ～立山町立釜ヶ淵小学校～



立山砂防事務所では、毎年6月から10月に県内の小学校を対象とし、常願寺川の災害・歴史や立山カルデラの砂防事業について、より理解を深めてもらう事を目的に、『僕ら「さぼう」探検隊！』と称し、「総合的な学習」を支援しています。

開催日：令和元年7月3日（水）10：00～11：50

場 所：立山砂防事務所  
立山カルデラ砂防博物館

参加者：立山町立釜ヶ淵小学校  
6年生：10名 引率教諭：2名

※今回は、富山県立山土木事務所が行う  
「こども砂防教室」の一環として開催されました。



土石流模型実験



土石流の特徴や非常時の備えを勉強しました！

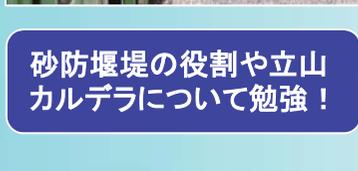


砂防堰堤見学

常願寺川の立体地図を見ながら砂防と富山平野の関係を勉強！



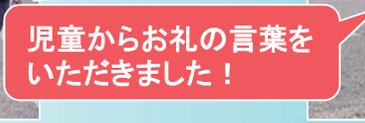
土石流体感3Dシアター



砂防堰堤の役割や立山カルデラについて勉強！



トロッコに乗車  
いってきま～す！



児童からお礼の言葉をいただきました！



## 令和元年度「子供防災教室(立山カルデラ砂防勉強会)」の開催結果

### ○目的

- 安政5年(1858)の地震により、常願寺川上流の立山カルデラ内で4.1億立方メートルの大崩壊が発生し、その土砂が土石流となり下流の富山平野で140名の死者を出しました。
- 未だその半分の2億立方メートルがカルデラ内に堆積しており、今日の荒廃の原因になっています。常願寺川では大雨が降るたびに、富山平野に土砂を流す暴れ川となり、砂防事業は明治39年(1905)富山県で着手し、大正15年(1926)国の直轄事業に移され、現在も、富山平野を土砂災害から護るため、劣悪(不便、危険)な環境の中で、多くの人たちが働いています。
- 富山県では、「立山・黒部」の世界文化遺産登録を目指し、カルデラ内の立山砂防を中心に国際的な評価の検証・確立等に取り組んでおられます。
- 富山支部では、平成25年から、斜面防災の重要性を流域の小学生を対象に、直接カルデラ内での体験学習の場を企画し実施しており、今回は7回目となります。
- 常願寺川流域の小学生が、自分たちが生活している土地や、人の安全のために行われているカルデラ内での防災事業の砂防を勉強し、常願寺川の自然や砂防・治水などについて学び、斜面防災の大切さに関する教育の向上を目的としています。

### ○実施日

令和元年9月3日(火) 天気: 晴れ

### ○場所

立山カルデラ(富山市、立山町)現地

### ○参加者

立山町立利田小学校6年生

(生徒47名、教員2名、案内・随行者7名、合計56名)

### ○

主催:(一社)斜面防災対策技術協会富山支部

協力: 富山県、国土交通省北陸地方整備局立山砂防事務所

### ○勉強会行程(小学校8時30分発～17時着)

利田小学校 発⇒立山カルデラ砂防博物館⇒立山砂防事務所出発(10時)トロッコ⇒水谷平(昼食)⇒白岩砂防堰堤(国指定重要文化財)⇒六九谷展望台⇒立山温泉跡地⇒跡津川断層⇒有峰記念館⇒利田小学校 着

白岩砂防堰堤(国指定重要文化財)



六九谷展望台



立山温泉跡地



# 「社会に学ぶ『14歳の挑戦』」

- 目的: 富山県では、中学2年生が5日間、学校外で職場体験活動や福祉・ボランティア活動等に参加する「社会に学ぶ『14歳の挑戦』」を実施している。  
規範意識や社会性を高め、将来の自分の生き方を考えるなど、生涯にわたってたくましく生き抜く力を身に付けることが目的。
- 日時: 令和元年7月8日(月)～12日(金)
- 場所: 富山河川国道事務所(有沢出張所、富山国道維持出張所)、北陸技術事務所富山出張所
- 参加者: 富山市立堀川中学校(生徒: 男子1名、女子1名)2名



事業概要説明



災害対策車の設営体験



堤防除草作業の見学



スランプ試験体験



橋梁点検体験



道路巡回体験



体験報告会

＜生徒の感想＞

- ・やる時はやり、休むときは休む、メリハリをつけて生活することを今後の学校生活で取り入れたい。
- ・川にある樋門がなぜあるのか知ることができた。
- ・橋の点検は細かい作業で、とても大変だった。

# 建設業における担い手確保・育成に向けた取り組み

(社会資本の役割や建設産業の魅力のPR)

## 県政バス「富山どぼく発見！ツアー」(H20～)

- ・令和元年8月6日(火)実施 20名参加(子供11名、保護者9名)
  - ・小学生以上18歳以下の子供とその保護者等を対象
  - ・県内の土木施設や施工現場などを見学
- (主な内容) ・富山駅南周辺整備、富山きとときと空港 等)  
・富山テレビ放送「元気とやま みんなのクイズ」に回答者として参加



富山駅



富山きとときと空港

## 富山県立大学「ダ・ヴィンチ祭」へ建設業ブース出展(H28～)

- ・令和元年8月3日(土)実施 184名受付(高校生以下102名、一般82名)
  - ・建設業協会、建設コンサルタント協会、測量設計業協会と連携して実施
  - ・建設業のイメージアップ、将来の担い手確保のため、楽しみながら建設技術を体験
- (主な内容)  
・ドローンの飛行実演 ・測量体験 ・VR(バーチャルリアリティ)建設現場体験  
・ラジコン重機の遠隔操作 ・ペーパーブリッジの製作 ・重機のシュミレータ操作体験



重機シュミレータ



ペーパーブリッジ

## 「ミル・シル・マナブとやまの土木・建築見学会」(H29～)

- ・令和元年9月30日(月)実施 20名参加(学生15名、教員5名)
  - ・富山県立大学及び富山大学と連携し、将来の土木技術者をめざす両大学の学生及び教員を対象とした見学会を開催
- (主な内容)  
・ラウンドアバウト：陽南環状交差点(上市町)  
・雑穀谷13号堰堤工工事(富山県) ・桂台第2ロックシェッド工工事(道路公社)



ラウンドアバウト



雑穀谷13号堰堤工

## 「建設のプロに会いに行こう！高校生のための現場見学ツアー」(R1)

- ・令和元年8月6日(火)実施 3名参加(高校生3名)
  - ・工事の現場のみならず、インフラ造りを支える「資材の製造」や「構造物の設計」など、幅広く建設産業の工程を訪ねるインフラツアーを開催
  - ・県内の高校生に直接配布される仕事情報誌にインフラツアーレポートを掲載し、広く建設業の魅力を発信する予定(令和2年2月発行予定)
- (主な内容) ・橋梁の設計現場 ・生コンクリートの製造現場 ・鉄筋用棒鋼の製造工場  
・コンクリート二次製品工場 ・橋梁の架設現場



県道高岡環状線  
橋梁架設工事

# 建設業における担い手確保・育成に向けた取り組み

(将来の建設業を担う人材の入職・定着・育成)

## 将来の建設業を担う人材の入職・定着・育成

### ○女性が活躍できる労働条件改善補助事業

建設企業等が行う、最新型の作業服等(空調付き作業服・ヘルメット等)の購入、労働条件改善のための社内規定の整備(育児・介護休業制度の導入等)など、女性も働きやすい職場になるような労働環境改善の取り組みへの支援を実施(H27～)

【R1申請】  
 ・トイレの改修 2社  
 ・最新型作業服の導入 2社  
 ・社内規定の整備 1社



空調付き作業服

### ○建設業若者活躍支援事業

事業者団体が行う、若年層の入職・定着・育成の取り組みへの支援を実施(H30～)

- ・資格取得支援講座 <対象>在職者  
土木・建築施工管理技術検定試験の短期集中対策講座の開催
- ・就職直前技能向上研修 <対象>高校生  
玉掛け及び小型移動式クレーン運転技能講習の開催
- ・新入社員向け研修 <対象>新入社員  
技術力向上や離職防止を図るための研修の開催



女性活躍推進のパンフレット

### ○「もっと女性が活躍できる建設業」支援事業

内閣府の「地域女性活躍推進交付金」を活用し、建設企業における女性活躍推進を図るため、女子学生による現場見学会・座談会や経営陣を対象とした研修会を開催(H30～)

## 建設業以外の新分野への進出に取り組む建設企業に対する支援

### ○建設業新分野進出等支援補助事業

経営基盤の強化に向け、プラン策定、事業立ち上げ、事業定着に要する費用を助成し、建設企業の新分野進出を支援(H18～)

【R1申請】 3社



木製品の企画・製作・販売



完全人工光型植物工場

## 富山大女子学生 工事現場を見学

技術者の仕事に理解

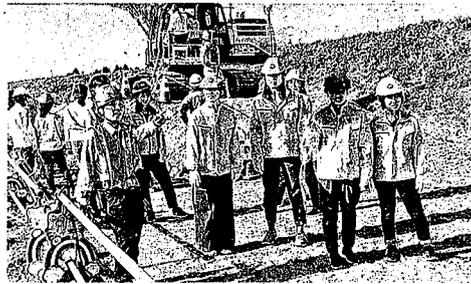


富山大都市・交通  
デザイン学科の女子

学生を対象にした工事現場見学会が1日、富山市葛原(大沢野)で開かれ、参加した16人が女性技術者の仕事や建設業に理解を深めた。

県内建設企業への女性の就職を促進しようと、県建設業協会が企画。見学した現場では、昨年7月の豪雨で被災した神通川左岸で堤防強化と護岸工事が進んでいる。射水建設興業(高岡)の監理技術者、金塚歩美さんに女性用トイレを案内してもらった後、女子学生は

金塚さん(手前左)から説明を受ける女子学生



衛星利用測位システム(GPS)を用いた建設機械の操作を見学し、測量やくい打ちを体験した。

1年生の酒谷架音さん(19)は「建設業のイメージが変わった。進路はまだ未定だが、参考になった」と話していた。

# 建設業への理解促進図る

## 女子学生対象の現場見学会

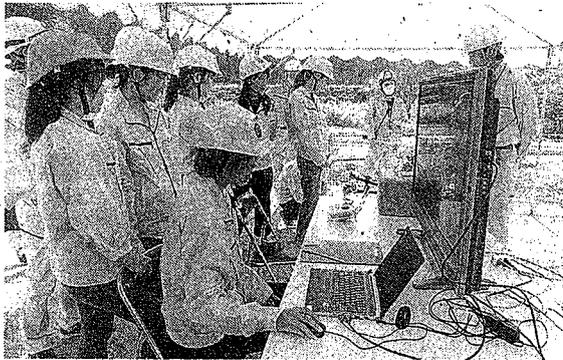
県建設業協会

富山県建設業協会は、1日、富山大学の女子学生を対象とした、建設現場見学会を開いた。県内3カ所の現場

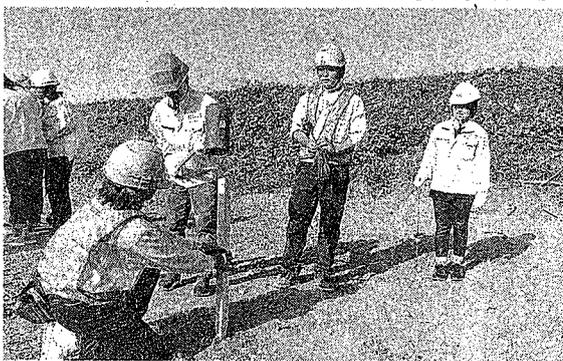
を見て回り、建設業に理解を深めた。

県内建設企業への入職や定着を促進するため、現場での女性技術者の活躍を見て、進路選択の参考にしてもら

う狙い。県の委託事業（もっと女性が活躍できる建設業支援事業）



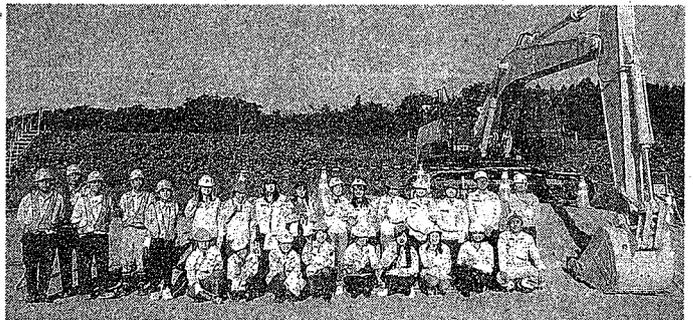
3次元測量を学ぶ様子①とくい打ちを体験する学生



として開くもの。

この日は、都市デザイン学部の1、2年生約20人が参加。県発注の「富山県立大学新棟新築等工事」、「主要地方道富山立山公園線藤木高架橋上部工事」と、北陸地方整備局富山河川国道事務所が発注した「神通川・葛原地区堤防強化及び河道内整備工事」の現場を順に見て回った。

このうち、葛原地区堤防強化及び河道内整備工事の現場では、はじめに富山河川国道事務所の谷口和哉工事品質管理官が事業概要を説明。引き続き、同工



参加者による集合写真

事を担当する射水建設興業の監理技術者である金塚歩美氏が、女性技術者の役割や1日のスケジュールなど働き方をアドバイス。そのほか、現場体験実習としてMCバックホウに乗車したり、3次元測量、丁張・くい打ちも体験した。また、女性専用の快適トイレなども見学した。

質疑では、金塚氏が「男女の差はない。待遇も徐々に良くなってきている」と話し、家庭と仕事の両立については「他の業種で働く方と同じ。家族や同僚と協力しあって」と語った。参加した1年生の酒谷架音さんは、「操作が難しかった。就職先に土木は考えていなかったが、IT化が進んでいてイメージと全然違った。女性でも差がなく働けそう」と感想を話した。

専用の快適トイレなども見学した。

質疑では、金塚氏は「男女の差はない。待遇も徐々に良くなってきている」と話し、家庭と仕事の両立については「他の業種で働く方と同じ。家族や同僚と協力しあって」と語った。参加した1年生の酒谷架音さんは、「操作が難しかった。就職先に土木は考えていなかったが、IT化が進んでいてイメージと全然違った。女性でも差がなく働けそう」と感想を話した。

# 女子大生が測量

## 富山、射水 建設現場を見学

県建設業協会は1日、富山、射水市で女子大生を対象とした建設現場見学会を開き、富山市デザイン学部1、2年の16人が建設業界に理解を深めた。

学生は各現場の様子を見て回り、現場で活躍する女性社員に仕事のやりがいや職場環境について話を聞いた。富山市葛原の河川工事の現場では、測量の機器を使ったり、くいを打つ作業を体験したりした。

測量作業を体験する学生

富山市葛原



令和元年度  
建設界の担い手確保・育成に関する取り組み

令和元年度の活動事例紹介  
【石川県部会】

令和元年7月22日(月)、(一社)日本建設業連合会北陸支部は、金沢大学から一年生35名の参加を頂き、①H29-32金沢東環月浦トンネル工事(北陸地整金沢河川国道事務所)、②北陸新幹線 梯川橋りょう他(独立行政法人 鉄道建設・運輸施設整備支援機構 大阪支社)の現場見学会を開催しました。

今回の見学会は、**日建連による「担い手の確保・育成」活動の一環として、建設現場のやりがい・魅力の発信、実際の作業環境を肌で感じ、現場職員との会話を通じての建設現場で働くイメージの形成**を目的として開催しました。

トンネル工事では、大学に近いエリアで施工中の山岳トンネル工事の切羽まで行く事が出来、大型重機やNATM工法で掘り進められた巨大な支保工の内部空間に立ち入って詳しく説明を受けたことから、「**真夏なのに換気設備が良くて意外だった**」、「**普段見れない段階の工事状況を見れて理解が深まった**」などの声がありました。

橋梁上部工工事では、PC片持箱桁橋の施工を目の当たりにし、やじろべえのように左右に徐々に出来ていく事への理解を深め、近年の建設労働者不足対応としての**外国人労働者を受け入れるJVの取組**(安全に対する外国語での教育DVD作成など)や**熱中症対策**として行っている休憩所できき氷配布を学生にも振る舞ってもらう等して、「**現場で想像以上に様々な取組を行っていることへの理解が深まった**」との声もあり、**担い手確保に向けての良いPRの場**となりました。

## 現場見学会

①「H29-32金沢東環月浦トンネル工事(北陸地整金沢河川国道事務所)

②北陸新幹線 梯川橋りょう他(独立行政法人 鉄道建設・運輸施設整備支援機構 大阪支社)



# 工業系高校・大学・専門学生との現場見学会

(一社)石川県建設業協会

6月27日(木) 金沢市立工業高等学校	建築科	3年	42名	東京国立近代美術館工芸館 他2箇所
7月 5日(金) 石川県立羽咋工業高等学校	建設造形科 建築コース	3年	16名	鼠多門、金沢港クルーズターミナル
7月 5日(金) 石川県立羽咋工業高等学校	建設造形科 土木コース	3年	17名	加賀拡幅桑原舗装他工事 他1箇所
7月 9日(火) 金沢市立工業高等学校	土木科	1年	42名	大浦千木町線道路築造工事、能越道
7月10日(水) 石川県立小松工業高等学校	建設科	1年	42名	月浦トンネル、小松駅新幹線工事 他1箇所
7月16日(火) 石川県立翠星高等学校	総合グリーン科学科	3年	22名	別宮町地内県営ほ場整備、梯川
9月20日(金) 金沢工業大学	環境土木工学科	1年生～院生	23名	白山白峰砂防堰堤
				参加計 5校7学科 参加者数計 204名



金沢市立工業高校 土木科  
(能越道 輪島国道出張所)



石川県立小松工業高校 建設科  
(小松駅新幹線工事 奥村組・加賀建設・江口組JV)



金沢工業大学 環境土木工学科  
(白峰砂防堰堤 白峰砂防出張所)

## 現場見学会での生徒の感想例

- 自分の進路に実感を持つことができた。
- 現場でのコミュニケーションの大切さを感じた。
- 将来の仕事について視野が広がった。

## 今後に向けて

将来の担い手確保に向け、今後も各学校と協議し、見学活動を継続して実施する。また、建設業における女性の活躍が今後大変重要なことから、女子学生向けの見学会や意見交換会等の活動を引き続き行っていく。

# 工業系高校との意見交換会

(一社) 石川県建設業協会

11月15日(金)予定	金沢市立工業高等学校	建築科	2年	40名	
12月13日(金)予定	石川県立羽咋工業高等学校	建設造形科	1年	30名	
12月13日(金)予定	石川県立羽咋工業高等学校	建設造形科	2年	30名	
12月13日(金)予定	金沢市立工業高等学校	土木科	2年	40名	
12月17日(火)予定	石川県立小松工業高等学校	建設科	2年	40名	
令和2年2月予定	石川県立翠星高等学校	環境科学コース	2年	30名	
参加生徒計					約210名



## 意見交換会について

- 工業高校との意見交換会は主に、前半は若手職員（同校OB等）が自身の1日・体験等をプレゼンまたは、ICTなどの最新技術の紹介・説明に加えて実機での操作体験。後半は協会会員企業所属の若手職員を中心としたグループ形式にて行った。
- 生徒からは、比較的年齢が近くて、同校の先輩職員だと意見交換での質問もしやすく、意見交換会を通じて生徒自身の近い将来像を想像することができ、貴重な機会を得ることができた。

## 【建コン協北陸支部の技術部会活動】

金沢工業大学で建設コンサルタントの仕事について説明しました！

実施日：令和元年6月6日（木）

開催場所：金沢工業大学

参加者数：環境土木工学科の3年生 72名

説明者：（一社）建設コンサルタンツ協会北陸支部

技術部会 トンネル委員会委員長 今度 充之  
道路委員会委員 藤本 勇一

72名もの学生が参加してくれました。

説明者の自己紹介の後、パンフレット「建コンPRIDE」に沿ってパワーポイントで説明し、さらに説明者の経験業務などについても話しました。

アンケートの回答から、今回の説明の前から建設コンサルタントのことを知っていた学生は以前よりも多くなっているようですが、今回の説明によって業務の内容やコンサルタントの立場などについて、より理解が深まり興味を持ってもらったことが分かりました。

沢山の学生がコンサルタントを目指してくれることを期待しています。

この機会を与えていただいた徳永教授に深く感謝しています。



# 【担い手確保】石の標本づくり in 白山手取川ジオパーク

(一社)石川県地質調査業協会

- 地質を調査する仕事があるということを知ってもらうために、まずは身近な「石」に興味をもってもらうよう、10月5日(土)に白山市、金沢市の小学4年生以上の親子を対象に、石の標本づくりイベントを開催。
- 石の専門家から説明を受けて「石」の成り立ちや種類などについて知ってもらう。

## 開催概要

令和元年10月5日(土) 10:00~12:00

〈開催場所〉

手取川の河原(道の駅しらやまさん)

〈参加者〉28組58名(小学生30名、保護者28名)

## イベントの感想

現在、アンケートの集計中であるが、速報としては下記の意見があった。

- 短い時間だったけれど、たくさん石を見つけられた。
- 石の色々な種類が知れたし、色などの違いも面白かった。
- 石にもいろんな歴史があって面白い。
- 家に持っている石も見てもらいたい。

## 今後に向けて

• 将来的には能登地区や、南加賀地区での開催も検討し、広く子供達に石や地質について興味をもってもらい、担い手確保に努めていきたい。



ゆきママと一緒に



河原で石探し



教授にいろいろ訊いてみた



薬液を使った石の判定

# 【担い手確保】 建設業の魅力を伝える体験学習

石川県立小松工業高等学校

地元建設業協会の協力により、建設業担い手確保・育成事業の一環として、「ものづくりの喜びや達成感が味わえる」といった建設業の魅力を伝えると共に、高校生の建設業に対する疑問に答えるために平成26年度から行っている。

本年度は、建設業において土木と建築の違いはどこにあるのか、どんな仕事があるのか体験学習を交えて、建設科の道を歩み始めた1年生を対象に、建設業に対する理解や関心を高めると共に、多くの生徒が建設業に携わる気概となることを目指して開催された。

## 開催概要

令和元年7月4日(木) 9:00

場所 石川県小松工業高等学校

計画設備室 CAD室 製図室 水理実験室 木工室

## 学習内容

- ・講演 『土木と建築の違い』
- ・体験学習(20分×4グループ)
  - ①【消波実験】 テトラポットの模型を積み上げて波消実験
  - ②【カンナ削り】 杉、桧、松 木の香りを体験
  - ③【建設機械】 ドローン 建設機械 操作
  - ④【航空写真】 構造物の写真から土木建築を分ける作業
- ・事前学習(5日後の現場見学での見どころ紹介)  
 公立小松大学末広キャンパス校舎整備工事、小松駅 新幹線工事

## 消波実験



きれいに、きれいに      どんどん積んで      波を作って消波実験



## カンナ削り

説明をよく聞いて      実践、できるかな      削れた、いい香り!

## 建設機械



建設機械の種類      機械ごとに役割がある      慎重に操縦して



## 航空写真

空から見ると      工事の進み具合がわかる      自分の知っている場所は?



## 建設業へようこそ

建設業協会



## 「建築と土木の違い」

参加企業15社  
建設科1年生40名

令和元年7月4日

協会の皆様ありがとうございました。  
 楽しく、建築と土木の違いが学べました。  
 この貴重な体験を活かし「人間にしかできない」  
 小さなことにも一生懸命に仕事に取り組み、  
 地域に貢献できる人になるよう頑張ります。



○出前講座

- ・高校生（普通高校も含む）を対象とする職業講話等の実施  
（H30：11校 約1,000名が参加）

《今年度実施済み》

6月 翠星高校（パネルディスカッション）

9月 寺井高校（現場見学） など

○高校生インフラツーリズム（夏）

- ・県内高校生を対象に実施

8/2 能登コース 輪島道路、測量機器体験等

8/8 加賀コース 月浦トンネル、測量機器体験等

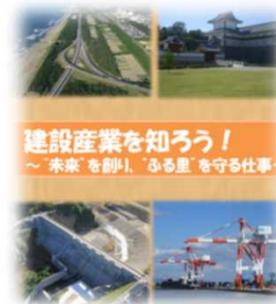
○一般向け建設業PRイベント

5/12 歩いてみよう「のと里山海道」

10/14 「はだしの王国2019」 ほか

○中学生向けPRパンフレット

- ・PRパンフレットを建設業協会と協力し作成。  
県内の全中学校に配布



令和元年度  
建設界の担い手確保・育成に関する取り組み

令和元年度の活動事例紹介  
【けんせつフェア in 富山 2019 開催報告】

# けんせつフェア北陸in富山2019の開催結果について

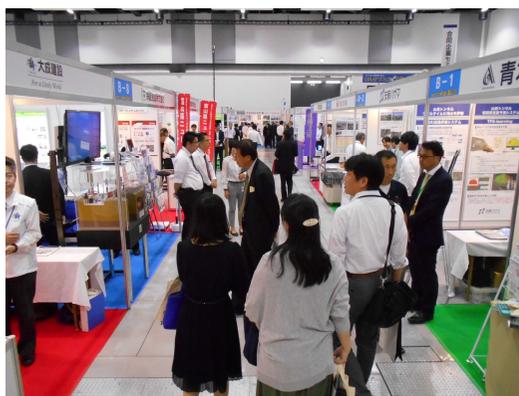
20191007\_幹部会会議資料\_企画部(1)\_1年

北陸地方整備局

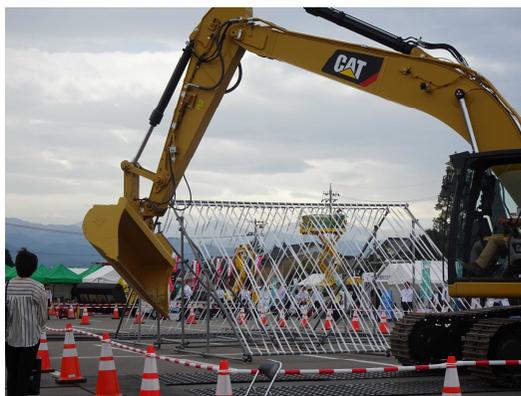
- ◆10月2日（水）3日（木）に、「けんせつフェア北陸in富山2019」を開催しました。  
来場者約4,600人を迎え、多くの建設技術者に情報交換の場を提供。
- ◆官公庁、大学、企業団体、個人企業による151社、355技術を展示  
大学4校、企業団体74社、個人企業59社（北海道、兵庫からも出展）
- ◆“グルッと体験「ICT」” ICT特設展示  
「▶3次元測量、▶3次元データ作成、▶ICT建機施工、▶3次元出来形管理」を屋外会場でぐるっと体験。
- ◆学生招待、合同企業セミナー  
富山県、石川県内の大学、高校生、専門学校から13校約740人を招待。  
うち今後の担い手となる学生に対して富山県内企業の情報発信等セミナーに約340人参加。
- ◆展示技術プレゼンテーション47社



企業セミナー



屋内展示会場



屋外展示会場

- 10/1(夕方)、10/2(朝) NHK富山
- 10/2 18:24 チュリップテレビ
- 10/3 富山新聞
- 10/3 建設通信新聞
- 10/3 日刊建設新報
- 10/3 建設工業新聞
- 10/3 日刊建設工業新聞
- 10/3 13:25~20分(生中継) 富山シティエフエム→

